

高陽地域・白木地域活性化プラン

《 案 》

令和7(2025)年1月時点

高陽地域・白木地域活性化プラン作成検討ワークショップ

目次

第1章	はじめに	1
1.	活性化プランの趣旨	1
2.	対象エリア	2
3.	検討フロー	3
第2章	現状・課題.....	4
1.	地域の現況	4
2.	主な地域資源、これまでの取組	7
3.	地域の課題等のまとめ.....	9
第3章	将来像・基本理念.....	11
1.	目指すべき地域の姿・理念.....	11
2.	地域の目指すべき姿	12
第4章	アクション内容	13
1.	取組の方策・体系.....	13
2.	各プロジェクトについて	14
第5章	計画推進に向けて	21
1.	今後の展開	21
資料編	22
1.	各回のワークショップニュース・当日資料.....	22

第1章 はじめに

1. 活性化プランの趣旨

安佐北区の高陽地域・白木地域では、平成28年 9 月にそれぞれの地域で「まちづくり提言書」が作成され、その後、それぞれの視点でまちづくりの取組が行われています。

一方で、「若者の流出」や「高齢化」が進行しており、「地域コミュニティをどのように維持していくか」といった課題があります。

さらに、現在、JR 芸備線に関するあり方についても議論や検討がされており、それらも課題の1つとして受け止めつつ、将来を見据えた上で、「持続的なまちづくり」を実現するための「地域の取組」などを考えることが大切です。

そこで、「地域の将来像」や「将来像を実現するための取組」などを両地域の住民が主体となって話し合うため、ワークショップという手法を通じて、検討を行いました。

これらの検討結果を踏まえて、このたび、『活性化プラン』として取りまとめました。

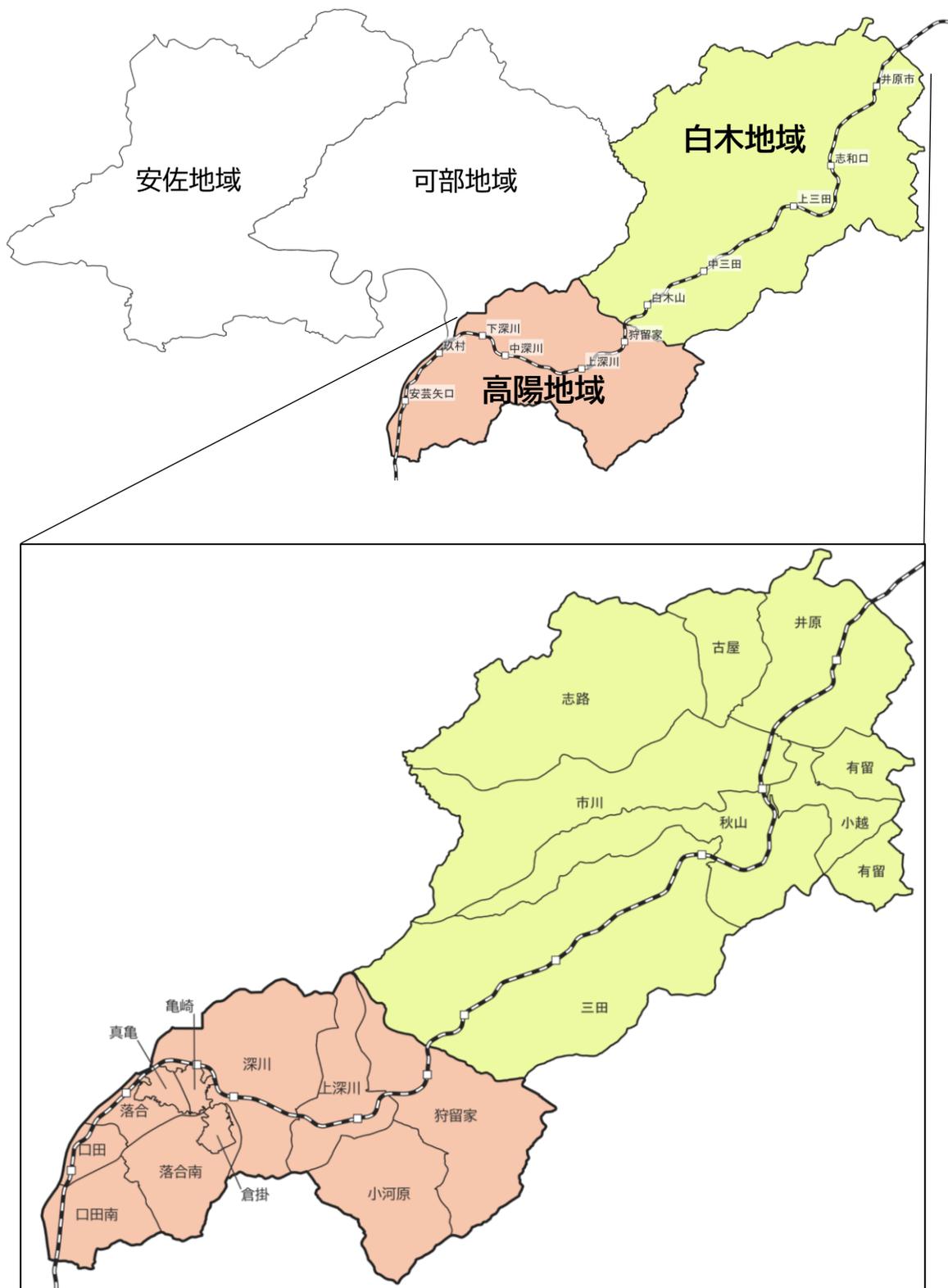
活性化プランの実行に当たっては、地域団体や関係機関など多様な主体による連携が不可欠となることから、記載している方向性等を広く共有しながら、地域のみんなで一丸となって、継続して取組を行っていきます。

また、取組に関しては、複数のプロジェクトを、ワークショップを通じて検討しましたが、地域が抱えるすべての課題に対して、活性化プランに記載したプロジェクトのみで解決できるものではありません。まずはこのプロジェクトを通じて、身近な地域課題解決の寄与につなげていくことを目標に取り組んでいきます。

2. 対象エリア

対象エリアは、安佐北区の高陽地域、白木地域とします。

■対象エリア



3. 検討フロー

活性化プランの検討にあたっては、地域の誇りや資源、これまでの取組などを共有・確認した上で、両地域の「目指すべきまちの姿」の方向性について整理を行いました。これを基に、高陽地域・白木地域それぞれの地域の将来像を考え、それらを実現するために地域で取り組みたいことを「プロジェクト」として整理しました。

また、それぞれのプロジェクトについて、プロジェクト同士の連携や、推進体制・運営体制等についても検討し、「活性化プラン」としてとりまとめを行いました。



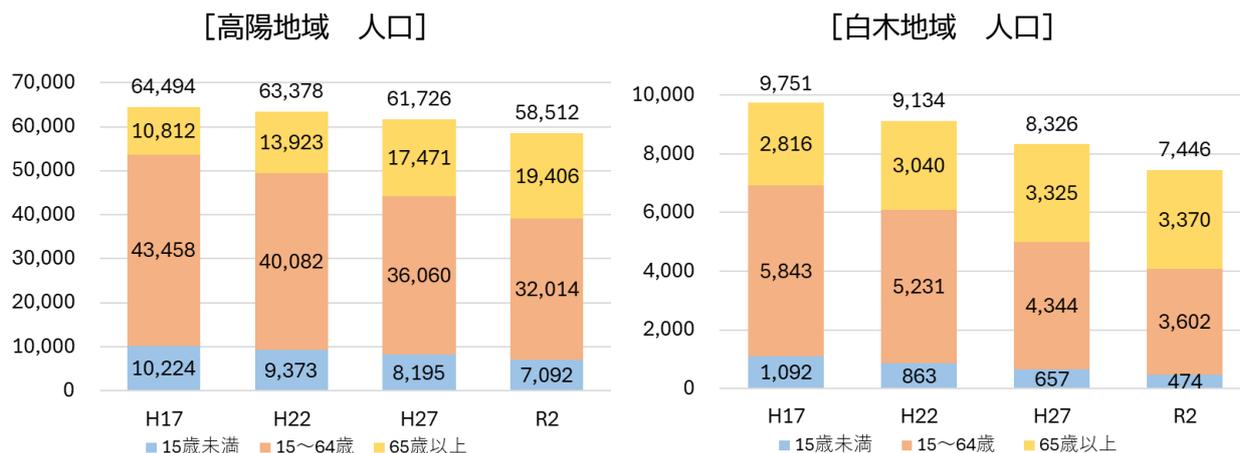
第2章 現状・課題

1. 地域の現況

(1) 人口

高陽地域の人口は、58,512人で、平成17年からの15年間で、約6,000人減少しています。65歳以上の人口が著しく増加しています。

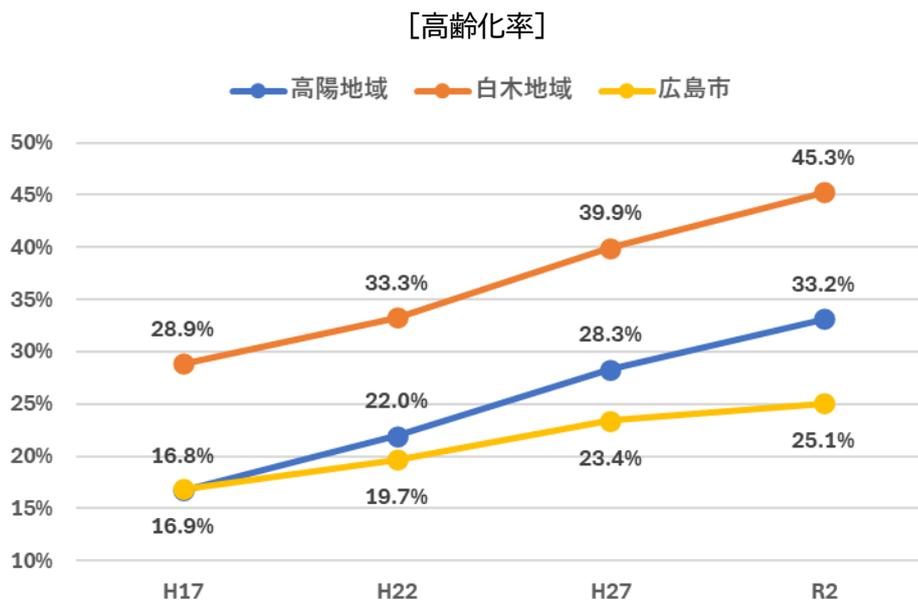
白木地域の人口は、7,446人で、平成17年からの15年間で、約2,300人減少しています。15歳未満の人口が著しく減少し、約500人となっています。



資料：国勢調査

(2) 高齢化率

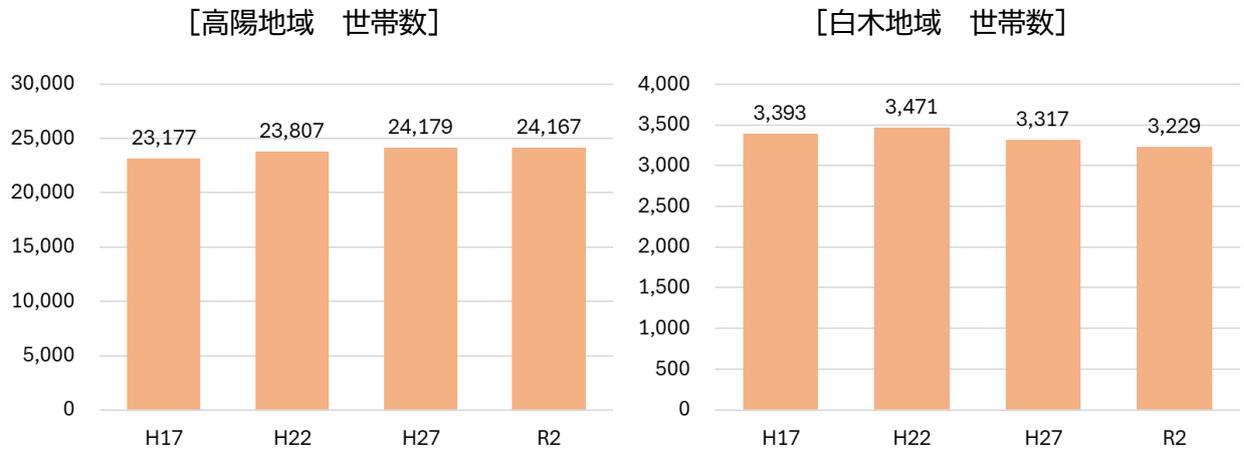
高陽地域、白木地域ともに高齢化が進行しており、令和2年では、高陽地域で33.2%、白木地域で45.3%となっています。



資料：国勢調査

(3) 世帯数

高陽地域の世帯数は、24,167 世帯となっており、世帯数は横ばい傾向となっています。白木地域の世帯数は、3,229 世帯となっており、世帯数は減少傾向となっています。

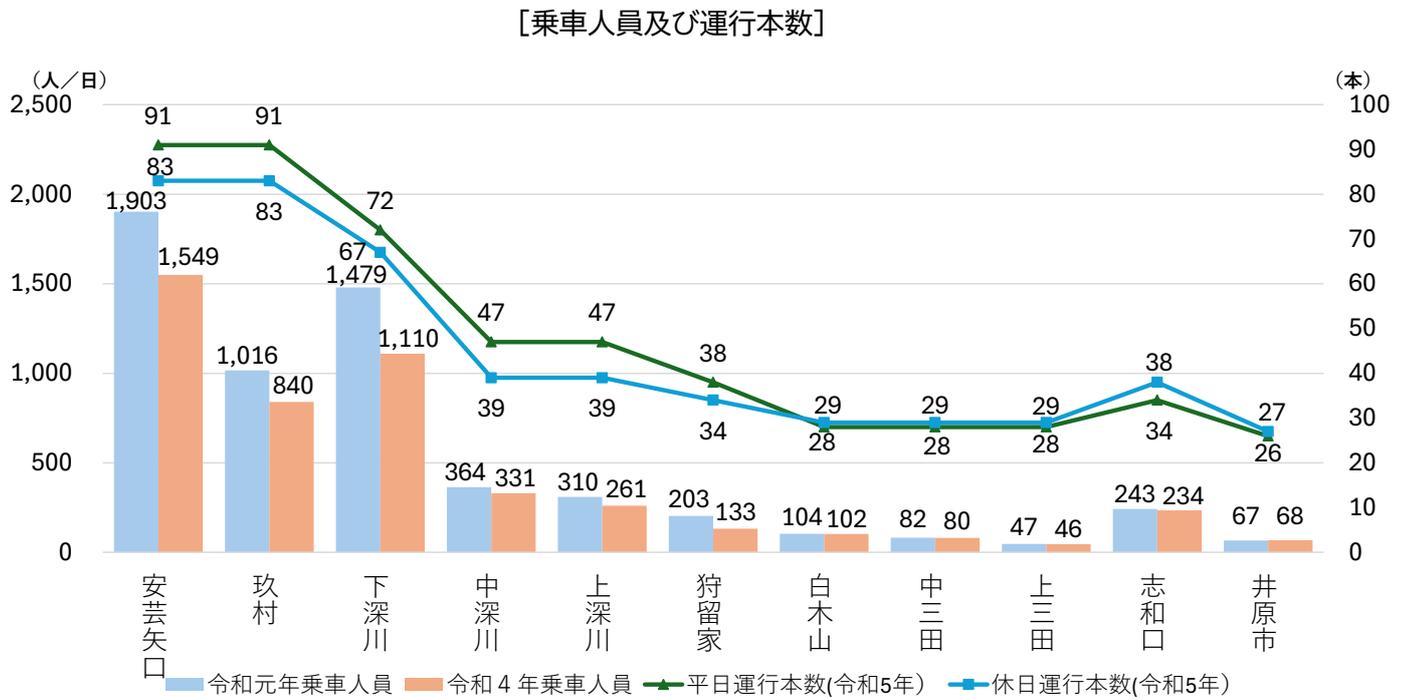


資料：国勢調査

(4) JR 芸備線の現況

① 高陽地域・白木地域の JR 駅の乗車人員・運行本数

芸備線の利用状況について、コロナ禍の前後で比較すると、全ての駅において、令和 4 年の乗車人員が、令和元年と比べて減少しています。また、広島駅～下深川駅間の折り返し便が多いため、中深川駅以北では運行本数も少なくなり、乗車人員は下深川駅の3分の1以下になっています。



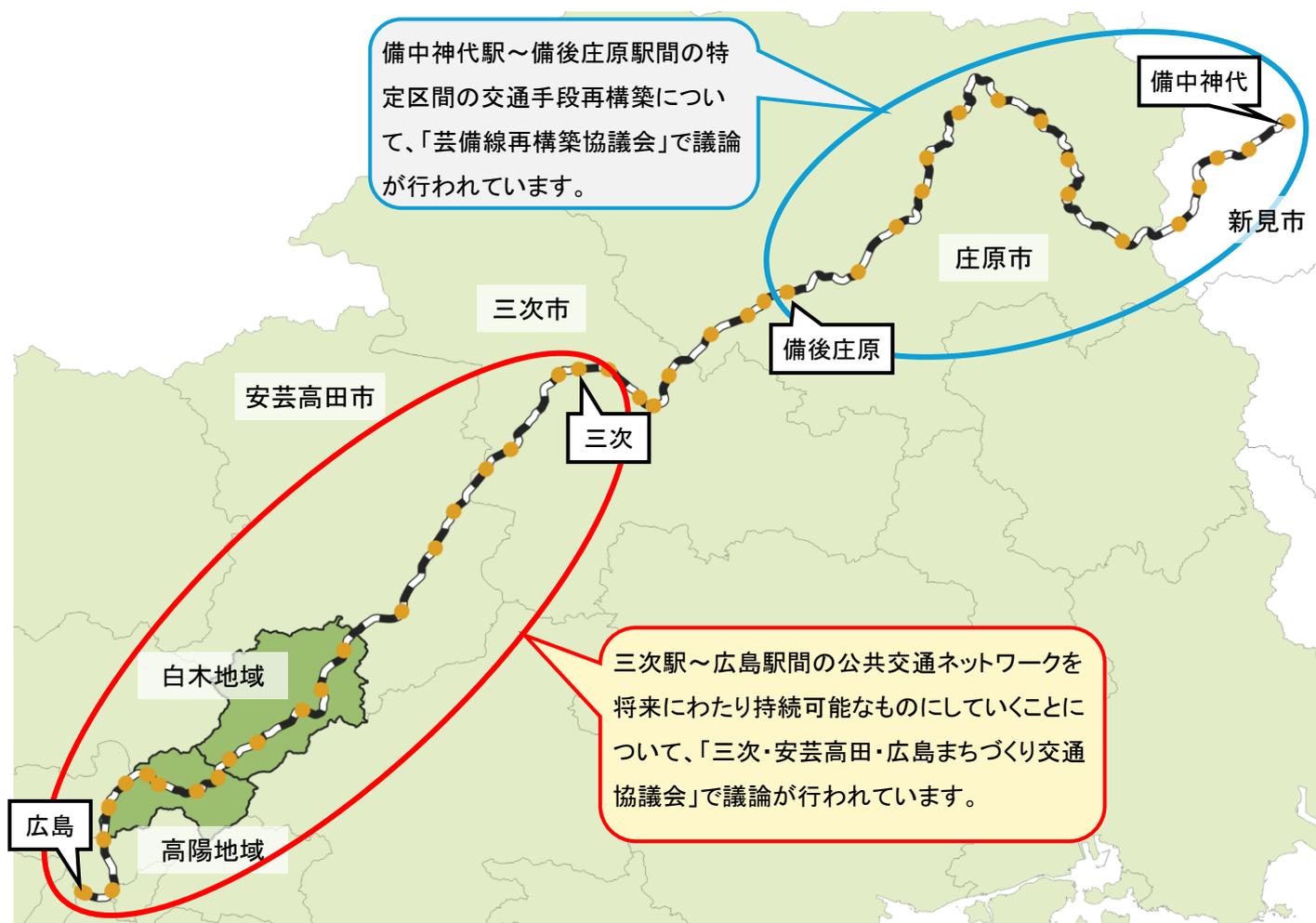
② JR芸備線を取り巻く状況

JR 西日本では、ローカル線を取り巻く環境の変化とともに利用状況が大きく変化していることから、輸送密度（平均通過人員）2,000 人/日未満の線区について収支率等の情報開示を行っています。令和5年の JR 芸備線三次駅～下深川駅間の輸送密度は998人/日、令和3年～令和5年の3 か年平均収支率は 11.7% となっており、非常に厳しい経営状況となっています。

また、JR 芸備線の備中神代駅～備後庄原駅間においては、輸送密度が 48 人/日と著しく少ないことから、国（中国運輸局）が令和6年3月に「芸備線再構築協議会」を設置し、国、関係自治体、鉄道事業者等により再構築方針の作成に関する議論が行われています。

一方で、JR 芸備線の沿線市である三次市、安芸高田市、広島市（沿線3市）は、一つの経済体として広域的に連携し、それぞれが主体的なまちづくりに取り組むための抜本的対策の一環として、三次駅～広島駅間の鉄道及び関連諸施設の在り方を含め、JR 芸備線を軸とした公共交通ネットワークを将来にわたり持続可能なものとしていくことについて議論するために、令和6年5月に「三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会」を設置し、沿線市、国、鉄道事業者らで議論が行われています。

このように JR 芸備線を取り巻く状況として、行政を中心にそれぞれの区間の実情などに応じて様々な議論が行われているところですが、高陽地域・白木地域においても、利用促進や活性化については地域の課題として受け止める必要があります。



2. 主な地域資源、これまでの取組

(1) 地域の誇り・大切にしたいこと

第 1 回目のワークショップの中で、「地域の誇り・大切にしたいこと」について思うことをグループで出し合い、それぞれの地域の誇りや両地域で共通していることなどを話し合いました。

カテゴリー	主な意見(抜粋)		
自然・歴史 特産品	<ul style="list-style-type: none"> ・太田川河川敷 ・三篠川 ・旧中郡道 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土史研究会 ・狩留家なす 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・白木山 ・安駄山 ・荒谷山からの景色 ・神ノ倉山 ・ホタル ・雲海 等
施設・公園	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが外で遊べる環境 ・他の場所から移住してきた人から魅力的に見える公園や河川敷 等 		<ul style="list-style-type: none"> ・ハングライダー、パラグライダーのテイクオフポイント ・ハングライダー(スカイスポーツ)の聖地になっている ・スーパー、もぐベリー、モーモーミルク 等
祭り・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・亀崎神社 秋季例大祭の奉納花火「吹火」 ・伝統・文化・芸能・地域行事の保存及び継承 等 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホタル祭り
人・まち	<ul style="list-style-type: none"> ・篠笛の達人(人的資産) ・人や町内のつながり 等 		<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の人数が少ないので、みんな仲が良い ・人と人との関わりが深く、情報がすぐに入ってくる ・声をかけたら協力してくれる人が多い 等
芸備線・交通	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹となる交通網 		<ul style="list-style-type: none"> ・りょうま記念館 ・ネコ駅長やまと、副駅長ちどり 等

両地域共通			
自然・歴史・ 特産	<ul style="list-style-type: none"> ・自然・歴史が豊か ・野生動物が多くいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山 ・星空 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供神楽(市無形文化財) ・歴史が深い 等
祭り・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り ・学区内のイベント(ふれあい祭り・盆踊り・運動会) 		<ul style="list-style-type: none"> ・祭りを後世に残したい 等
人・まち	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな知り合い ・共助気持ち ・人のつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が優しい ・絆が強い 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内のコミュニケーション ・地域の人が大人になっても長く付き合いがある 等
芸備線・交通	<ul style="list-style-type: none"> ・芸備線 		

(2) これまでの取組を踏まえた今後の取組について

第 1 回目のワークショップにおいて、『これまでの取組と今後の展開』について、「住みよさ」「安全・安心」「人が集まる・賑わい・楽しい」「自然」「その他」の 5 項目で、それぞれの地域で取り組んできたことや今後取り組んでみたいこと等を話し合いました。

主な意見(抜粋)		
カテゴリー	高陽地域	白木地域
住みよさ	<ul style="list-style-type: none"> 高陽ニュータウンの再利用や耕作放棄地対策 安佐北区と安佐南区を繋ぐ。等 	<ul style="list-style-type: none"> 人と人との関わりが多く、知らない人はいない。 人々に活気があり、互いに協力し、住むのが楽しい町 等
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの見守りをしっかりしている。 歩道の確保 等 	<ul style="list-style-type: none"> 人と人との交流があるので情報がすぐに入ってくる。 空き家対策 等
人が集まる・賑わい・楽しい	<ul style="list-style-type: none"> 歴史資源活用 子供も楽しめるイベント賑わいの創出 芸備線へのアクセス向上で人があつまる場所の創出 観光マップを作り、観光客を呼ぶ。 等 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生中心に祭りのメインを行う行事がある。 ネコ駅長りょうまの次代であるやまと、ちどりの 2 匹のネコ活用 いちご・ブルーベリー狩りの広報・広告、観光マップ 等
自然	<ul style="list-style-type: none"> 自然との融合を図れるあたたかいまち 等 	<ul style="list-style-type: none"> 自然が多くあり、山登りやハングライダー等が楽しめる。 自然を守る為の環境整備を過度に行わない。 荒谷山・神ノ倉山へのアクセスをよくし、観光客を呼ぶ。 自然や野生動物、ホタル・オオサンショウウオを守る。 体験イベント開催 等
その他	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会でイベントを開く。 田舎暮らしの良さを宣伝して、若い人に住んでもらう。 白木地区への交通手段を増やす。 等 	<ul style="list-style-type: none"> 町から出た若者を呼び起こせるような地域にする。 住民が自分の住んでいる地域が好き、他地域の人に自信をもって言える 等
両地域共通		
住みよさ	<ul style="list-style-type: none"> みんなで助け合いができる。 若者と高齢者のコミュニケーションが取りやすくなればいい。 SNS を中心に発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の充実(タクシー、ループバスなど) 災害時の道路やルートの確保 等
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしの高齢者を見守る、家の片づけをする。 災害に強い地域にする。(防災センターの設置、水害対策 など) 道路の整備(狭く救急車が入れない道路や事故の多い場所もある) 等 	
人が集まる・賑わい・楽しい	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会でイベントや地域の特産品を活用した行事を行う。 飲食店やカフェ、駅の中に居酒屋がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 盆踊り・お祭りをを行う。祭りを増やす、発信する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 若者主体で発信する。 昔からある伝統と新しくはじめることどちらも平等に大切にする。 等 	

3. 地域の課題等のまとめ

第 1 回目のワークショップにおいて話し合った内容を基に、地域へのヒアリング（地域で活動や生活をしている、キーマンとなり得る方に対し実施）の結果も踏まえながら、課題等のまとめを以下に整理します。

① 各地域のまとめ

	高陽地域	白木地域
住みよさ	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが遊べたり、楽しめる環境整備が求められている。 他の場所から移住してきた人にとっても魅力的に見える公園や河川敷など、人が集まりやすい場が求められている。 芸備線へのアクセス性の向上が求められている。 住みやすさの向上に向けて、公共交通や道路整備などの充実が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人と人との関わりが深く、良い意味でも悪い意味でも知らない人はいない。そのため、情報がすぐに入ってくる。人々に活気があり、互いに協力し、住むのが楽しい。 公共交通が止まると通勤・通学に影響があることから対応の検討が求められている。 現状として、高齢者のほとんどが車を使って移動しているが、今後、免許返納した際などの対応の検討も求められる。
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 平常時・緊急時含めた道路（通学路含む）の安全性、防災性の強化、バリアフリーなどの安心安全なまちづくりが求められている。 防災拠点、避難所、避難路等を把握し、地域で互いを支え合える・見守り合える環境・体制づくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家が年々増加していたり、災害時に不安があるため、対策の検討が必要。
人が集まる・賑わい・楽しい	<ul style="list-style-type: none"> 地区によっては、地域のお祭りや伝統芸能等の実施・維持が困難になりつつあり、地区の魅力・活力低下が懸念される。 空き家は少ないが、高齢者は多くなってきており、町内会に入る人も少なくなっている。 高齢者や子どもたちが集まれる広場や公園を整備する、子どもも楽しめるイベントの開催等、賑わい創出につながるような取組を検討し、実行していくことが必要。 芸備線の各駅を拠点にしたイベント等を開催し、人を集め、地域の活性化につなげることが求められている。 地域の伝統や特産物を活用した人の集まるまちづくりが必要。 買い物や娯楽施設などが充実した、住んで楽しいまちづくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口が減少している中で、特に 15 歳未満の人口が著しく減少している。地域に若い人がおらず、高齢化が進行しており、活動も同じ人が主体となっている。活動やイベントへの参加者も減少している。 人が集まる機会・場所がなく、空き家が壊され、更地になっているところがたくさんあり、賑わいや活気が失われている。 地域資源を活かした賑わいづくりや地域の活性化に向けた取組が必要。 次世代の育成ができていない現状を見ているからこそ、周りをうまく巻き込みながらやっていくことが必要。 ひろしま LMO への参加や地域がやりたいことについて、達成感やわくわく感をもって取り組むことが必要。 芸備線の沿線地域と協力した利用促進に向けた取組や駅舎の活用なども検討。
自然	<ul style="list-style-type: none"> 狩留家地区は、高陽地域での自然とのふれあいの供給地になり得る可能性があることから、自然を生かした展開を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源である自然（荒谷山、神ノ倉山等）の活用や PR、整備等を含め、地域内のつながりも活かした地域づくりが必要。 自然や動物を守るための環境整備も必要。 持続性があり、みんなが集まる（体験できる）機会や場づくりが必要。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動団体の継続化、取組継承などは課題。 白木地区への交通手段を増やすなどして、両地区で連携できることを検討していくことも必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 年配の方から活動、取組への理解が得られない。地域のことにに関して、自分ごとと捉えている人が少ない。地元の人が本気になって、地域で協力することが必要。 地域の特産物の発掘が求められる。

② 両地域のまとめ

<p>住みよさ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者と高齢者のコミュニケーションが取りやすい環境やみんなで支え合える環境が求められている。 ● 子どもが安心して遊べる場や多世代が集まりやすい場が求められている。 ● 住みやすさの向上に向けて、芸備線へのアクセス性をはじめ、公共交通や道路整備などの充実が求められている。
<p>安全・安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時における安全性の確保や高齢者の見守りなど、安心して暮らせる地域づくりが求められている。 ● 平常時・緊急時含めた道路（通学路含む）の安全性、防災性の強化、バリアフリーなどの安心安全なまちづくりや災害に強い地域にしていくことが必要。 ● 防災拠点や避難所、避難路等を把握し、地域で互いを支え合い、見守り合える環境・体制づくりが必要。
<p>人が集まる・賑わい・楽しい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動やイベントへの参加者も減少していることが影響し、地域のお祭りや伝統行事等の実施・維持が困難になりつつある地区もあり、地域の活動団体の継続化、取組継承なども課題。 ● 今ある地域のつながりや絆を大切にしながら、地域内のコミュニケーションを高めていくことが必要。（共助の気持ちを育てる） ● 地域内外が集い、交流し、地域の活性化につなげていくことで、賑わいを生み出すことも必要。 ● 次世代育成ができていないからこそ、周りをうまく巻き込みながらやっていくことも必要。（賑わいを生み出す取組の案） ● 高齢者や子どもたちが集まれる広場や公園の整備 ● 子どもも楽しめるイベントの開催 ● 芸備線の活用を通じた活性化（駅舎の活用、各駅を拠点にしたイベントの開催等） ● 地域の伝統や特産品を活用した行事の実施
<p>自然</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域資源となる自然を生かし、守り育てながら、みんなが集まり、交流できる（体験できる）機会や場づくりが必要。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SNS を中心に情報等を発信することも大切。若者主体での発信も期待されている。 ● 昔からある伝統と新しくはじめることどちらも平等に大切にしたい。 ● 両地区で連携できることを検討し、一緒に取り組むことも重要。
<p>方向性 （全体に関わること）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● まちから出た若者を呼び起こせるような地域にしたい。 ● 「自分の住んでいる地域が好き」と他地域の人に自信をもって言えるようにしたい。 ● 今ある地域資源を上手に活用しながら、地域に来たくなる、外に出た人が戻ってきたくなるような地域づくりが必要。 ● 子どもから高齢者までが安心して暮らすことのできる環境づくりや人が集まれる（交流できる）場づくりが必要。 ● 各世代が互いを尊重しながら、地域がやりたいことについて、達成感やワクワク感をもって様々な人や団体、地域と一緒に協力しながら、取り組むことが必要。

第3章 将来像・基本理念

第2章のまとめ等やワークショップでの結果を踏まえて、以下で、将来像や基本理念を整理します。

1. 目指すべき地域の姿・理念

両地域の現状やこれまでの取組を踏まえて、両地域の目指すべき姿を検討



目指すべきまちの姿 (※ワークショップでの得票数が多い順に一部抜粋)	キーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全なまちづくり(災害に強いまちづくり) ・道路網の整備(基幹交通網の整備) ・若者が帰ってくるまち(若者の定着化) ・高齢者にも住みよいまちづくり 	安心安全 交通・インフラ 住みよさ
<ul style="list-style-type: none"> ☆芸備線を拠点にしたまちづくり ・駅に飲食店(居酒屋)、カフェ、野菜販売、保育園 → 駅に行きたくなる ・駅に行くための、ループバスの確率 → 行く人が増えれば、本数が増える 	施設 交通・インフラ
<ul style="list-style-type: none"> ・親子で遊べる子どもの公園、夜飲める場(高陽) ・安心して遊べるまちにする! 観光マップ ・自然との融合を計れるあたたかい町!(白木・安駄山・荒谷山・神ノ倉) ・公共交通の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のパーク&ライド ・駐車場の整備、高陽インター ・交通整備 	施設 安心安全 自然 交通・インフラ
<ul style="list-style-type: none"> ・生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域 ・世代と世代の繋がりが強い地域 ・戻ってきたくるような地域 ・多くの楽しい行事 ・伝統やしきたりにとらわれない 	住みよさ 人とのつながり まち・地域 行事 文化・伝統
住みやすい町 →利便性<生活>(スーパー/交通の便) →コミュニケーションの場(キャンプ場/トレイルラン→自然/飲食店(ハウス) 飲む! 食べる! カフェいっぱいやるうや! →子ども・老後<弱者>が安心できる町	交通・インフラ 施設 安心安全



“地域の良さ” や “つながり” を活かし、
いつまでも安心して暮らせる地域

2. 地域の目指すべき姿

両地域の将来像を踏まえて、各地域の将来像をワークショップで共有し、高陽地域、白木地域それぞれの目指すべき姿を整理します。

(1) 高陽地域の目指すべき姿

両地域の将来像(前ページ参照)を踏まえて、高陽地域における目指すべき姿を検討



高陽地域の将来像

- 住みやすいまち
- 高齢者に住みよいまちづくり
- 交通の整備
- 若者と高齢者のバランス
- 生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域
- 戻ってきたくなるような地域
- 安心安全のまちづくり
- 災害に強いまち



多世代にとって、安心してずっと暮らし続けたい地域

(2) 白木地域の目指すべき姿

両地域の将来像(前ページ参照)を踏まえて、白木地域における目指すべき姿を検討



白木地域の将来像

- 生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域
- 住みやすいまち
- 自然との融合を図れ、人々が互いに協力して活気あふれる、住むのが楽しいまち
- 戻っていきたくなるような地域として、地域の活性化を進めていく



自然とともに、活気あふれる楽しい地域

いつでも戻ってきたくなる地域

第4章 アクション内容

1. 取組の方策・体系

① 目指すべき姿

高陽地域	白木地域
<ul style="list-style-type: none"> ● 多世代にとって、安心してずっと暮らし続けたい地域 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然とともに、活気あふれる楽しい地域 ● いつでも戻ってきたくなる地域



② プロジェクト方向性

高陽地域	白木地域
<ul style="list-style-type: none"> ● 芸備線の活性化 ● みんなが集まれるイベントを企画する ● 高陽体育館の建替え 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然の有効活用 ● 既にあるものを活かした取組 ● 情報発信 ● 芸備線の活性化・利用促進

③ プロジェクト

【高陽地域】

方向性	プロジェクト
芸備線の活性化	みんなで使おう芸備線!! ~もっと便利な芸備線にしよう~
	芸備線の活性化
高陽体育館の建替え	深川地区の活性化プロジェクト
みんなが集まれるイベントを企画する	KoYo BIG Fes
	高陽ゲートパーク化計画

【白木地域】

方向性	プロジェクト
芸備線の活性化・利用促進	鉄道「X(エックス)」
自然の有効活用	白木自然発見
既にあるものを活かした取組	資源の活用(意識改革)
情報発信	#白木町広報課

2. 各プロジェクトについて

ワークショップで、プロジェクトの方向性を踏まえ、各プロジェクトチームごとにプロジェクトシートを作成し、各プロジェクトの目指す方向性や取組内容、スケジュール等を整理しました。

また、地域内、地域外で連携できそうな取組についても、プロジェクトの内容を共有し、整理しました。

(1) 高陽地域

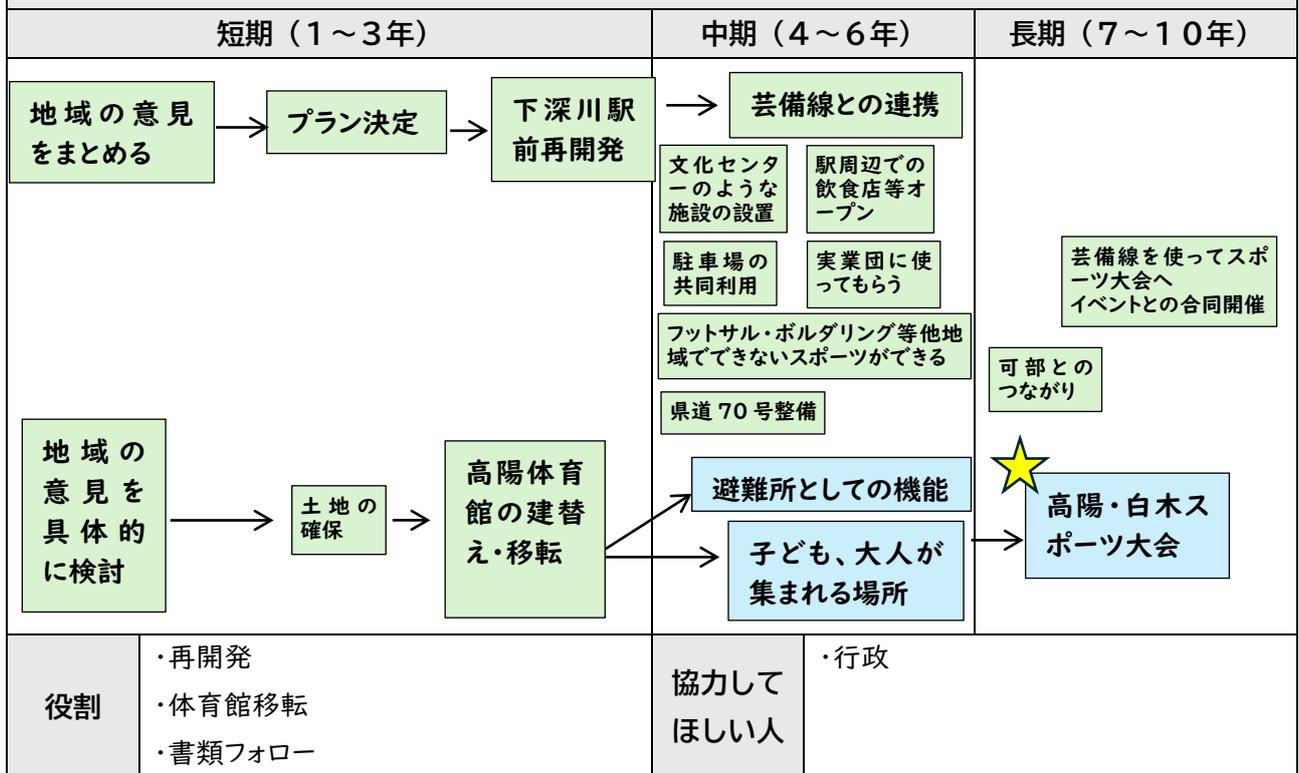
プロジェクト名	みんなで使おう芸備線! ～もっと便利な芸備線にしよう～		
目指す方向性・目標	芸備線の利便性を向上する(利用促進方法)		
ターゲット	地域住民		
取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民意識アンケートをとる。 ● 狩留家なすを事例に各地域の特産物を広める。 ● 話題性で人を集める(高陽・白木のイベント、JRとのイベント)。 ● 駅のまわりへ飲食店を誘致する。 		
スケジュール			
	短期(1～3年)	中期(4～6年)	長期(7～10年)
役割	・交渉	協力してほしい人	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体 ・国 ・JR 西日本 ・政治家

- ★ 両地域で連携できそうなこと
- 地域内で連携できそうなこと

第4回のワークショップ結果をもとに
1年目のロードマップ(行動計画)を整理
★こちらに記載予定★

プロジェクト名	深川地区の活性化プロジェクト
目指す方向性・目標	建替えるからこそ「売り」を多くしたい 下深川駅前再開発
ターゲット	高陽・白木地域、芸備線沿線地域
取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の意見をまとめる。 ● 地域の意見を具体的に検討。 ● 芸備線との連携 ● 避難所としての機能 ● 高陽・白木スポーツ大会

スケジュール



★ 両地域で連携できそうなこと

■ 地域内で連携できそうなこと

第4回のワークショップ結果をもとに
1年目のロードマップ(行動計画)を整理
★こちらに記載予定★

プロジェクト名	KoYo BIG Fes	
目指す方向性・目標	地域のつながりをつくる。若者を呼ぶ。	
ターゲット	全世代、老若男女、近隣、他地域から	
取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のイベントと一緒にやる。 ● イベントの告知を学校や地域の会社に協力してもらう。 ● 神楽の依頼 ● フリーマーケット ● 音楽フェス、クリスマスマーケットをする。 ● 荒谷山雲海ツアー 	
スケジュール		
	短期（1～3年）	中期（4～6年）
	<p>SNS、地域の学校、会社に告知協力依頼</p> <p>★ MUSIC ステージ発表（高陽 wing、大学生）</p> <p>★ Cafe wine</p> <p>★ フリーマーケット（野菜や特産物、地元企業）</p> <p>地域のイベントと一緒にやる</p> <p>地域の伝統“神楽”の競演</p> <p>物々交換・物品提供（学用品や制服など、児童会・各学校生徒会）</p>	<p>音楽フェス</p> <p>クリスマスマーケット</p> <p>荒谷山雲海ツアー</p> <p>花火</p> <p>映える背景</p>
長期（7～10年）		
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へ声かけ ・地域をつなぐ ・司会 ・広告作り ・SNS 発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・著名人 <p>協力してほしい人</p>

★ 両地域で連携できそうなこと

■ 地域内で連携できそうなこと

第4回のワークショップ結果をもとに
1年目のロードマップ（行動計画）を整理

★こちらに記載予定★

(2) 白木地域

プロジェクト名	鉄道「X(エックス)」		
目指す方向性・目標	来訪者の大幅増加 列車の本数を増やす・増結 団体専用の臨時列車の運用		
ターゲット	観光客 乗り鉄(鉄道愛好家) 猫愛好家(猫好きな人) シニア		
取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅舎を利用(カフェ等)する。 ● 電子決済ができるようにする。 ● 古い車両を購入し、休憩や宿泊ができるようにする。 ● ホタル列車や雲海列車を走らせる。 ● SNS やメディアでアピールをする。 ● 駅周辺のリーフレット、マップを作成する。 ● 登山道を整備する。 		
スケジュール			
	短期 (1～3年)	中期 (4～6年)	長期 (7～10年)
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時列車を走らせる ・アピール ・女性の集客 ・猫のお世話 ・山師 	協力してほしい人	<ul style="list-style-type: none"> ・JR ・市議会議員 ・白木産業 ・来てくれた女性の旦那さん ・高陽地区の皆さん

★ 両地域で連携できそうなこと

■ 地域内で連携できそうなこと

第4回のワークショップ結果をもとに
1年目のロードマップ(行動計画)を整理
★こちらに記載予定★

プロジェクト名	白木自然発見		
目指す方向性・目標	山を知ってもらう 山の維持 登山者の増加 山の利用者の増加		
ターゲット	全世代		
取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 登山道の整備 ● 山ツアー ● キャンプ ● 山のPR 		
スケジュール			
	短期（1～3年）	中期（4～6年）	長期（7～10年）
	<div style="text-align: center;">道標・案内図整備</div>		
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・現場管理 ・山の案内 ・広報 	協力してほしい人	<ul style="list-style-type: none"> ・登山団体 ・観光課 ・農林水産課 ・#白木町広報課

★ 両地域で連携できそうなこと

□ 地域内で連携できそうなこと

第4回のワークショップ結果をもとに
1年目のロードマップ(行動計画)を整理
★こちらに記載予定★

プロジェクト名	りにゅーある 里New 在		
目指す方向性・目標	夢を語る		
ターゲット	全ての人・物・文化		
取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 場づくり(機会・仲間) ● 既存の施設の発掘 ● 意識を変える 		
スケジュール			
	短期 (1～3年)	中期 (4～6年)	長期 (7～10年)
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・段取り ・調達(人・物等) ・場所の提供 	協力してほしい人	<ul style="list-style-type: none"> ・料理のできる人 ・#白木町広報課 ・広島市

- ★ 両地域で連携できそうなこと
- 地域内で連携できそうなこと

第4回のワークショップ結果をもとに
1年目のロードマップ(行動計画)を整理
★こちらに記載予定★

プロジェクト名	#白木町広報課		
目指す方向性・目標	白木町に来てもらう。白木町を知ってもらう。		
ターゲット	高陽・白木地域、芸備線沿線地域		
取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 組織をつくる。 ● 情報をまとめるルートをつくる。 ● 「#白木町広報課」をつけて投稿してもらう。 ● Youtube チャンネルや情報番組で紹介する。 		
スケジュール			
	短期（1～3年）	中期（4～6年）	長期（7～10年）
役割	・情報を1つにまとめる	協力してほしい人	・各地域の団体 ・動画制作のできる人 ・インフルエンサー

- ★ 両地域で連携できそうなこと
- 地域内で連携できそうなこと

第4回のワークショップ結果をもとに
1年目のロードマップ(行動計画)を整理
★こちらに記載予定★

1. 各回のワークショップニュース・当日資料

(1) 第1回

令和6年8月
No.01

広島市地域活性推進課
Tel:082-504-2837
Fax:082-504-2029

高陽地域・白木地域 活性化プラン作成検討 ワークショップ ニュース



高陽・白木地域のこれからのまちづくりについて考える 第1回目のワークショップを開催しました！！

高陽地域・白木地域では、平成28年にそれぞれの地域で「まちづくり提言書」を作成され、その後、それぞれの視点でまちづくりの取組が行われています。一方で、「若者の流出」や「高齢化」が進行しており、地域コミュニティをどのように維持していくかといった課題があります。

さらに、現在、芸備線に関するあり方についても議論や検討がされており、それらも課題の一つとして受け止めつつ、将来を見据えた上で、「持続的なまちづくり」を実現するための「地域の取組」などを考えることが大切です。

そこで、「地域の将来像」や「将来像を実現するための取組」など両地域のお住まいの方に話し合ってもらい、その内容を『活性化プラン』として取りまとめていきます。

ワークショップの手法を取りながら、全4回（両地域合同開催、地域別開催含む）で実施を予定しています。

第1回目は、7月27日に高陽公民館で開催し、10代から80代までの計40名が参加し、「両地域の“これまで”と“未来”について語る」をテーマに様々な思いや考えを対話いただきました。

ワークショップの予定

7月 第1回（2地域 合同開催）
両地域の“これまで”と“未来”について語る！

9月 第2回（地域別で開催）
未来の地域の姿を実現するための
取組・アイデア検討！①

11月 第3回（地域別で開催）
未来の地域の姿を実現するための
取組・アイデア検討！②

1月 第4回（2地域 合同開催）
これから目指すまちの姿の実現に向けて！

活性化プランのとりまとめ

～当日のプログラム～

1. 開会・あいさつ
2. 事業の説明、活性化プランについて
3. WS 全体運営者の紹介
4. ワークショップ(ワールドカフェ)
 - ・方法説明
 - ・アイスブレイク:名札作成と自己紹介
 - ・テーマ1:地域の誇り・大切にしたいこと
 - ・これまでの取組について、情報提供
 - ・テーマ2:これまでの取組と今後の展開①
 - ・テーマ3:これまでの取組と今後の展開②
 - ・テーマ4:目指すべきまちの姿
 - ・まとめ
 - ・発表
 - ・投票
5. 閉会

1回目は「両地域の“これまで”と“未来”に

当日のワークショップの流れ

当日は、活性化プランを検討する趣旨や背景等についての情報提供を行い、テーマごとに対話を行うワークショップを実施しました。
最後に、すべてのグループからお話いただいた内容を発表していただきました。



テーマ1 地域の誇り・大切にしたいこと

テーマ1では、「地域の誇り・大切にしたいこと」について思うことをグループで出し合い、それぞれの地域の誇りや両地域で共通していることなどを共有しました。自然や歴史のみならず、地域の行事や人とのつながりなど、地域の誇りや大切にしたいことがたくさん挙げられました。

カテゴリー	主な意見(抜粋)	
	高陽地域	白木地域
自然・歴史・特産	<ul style="list-style-type: none"> 太田川河川敷 三篠川 旧中郡道 郷土史研究会 狩留家なす 	<ul style="list-style-type: none"> 白木山 安駄山 荒谷山からの景色 神ノ倉山 ホテル 雲海
施設・公園	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちが外で遊べる環境 他の場所から移住してきた人から魅力的に見える公園や河川敷 	<ul style="list-style-type: none"> ハングライダー、パラグライダーのテイクオフポイント ハングライダー(スカイスポーツ)の聖地になっている スーパー、もぐベリー、モーモーミルク
祭り・イベント	<ul style="list-style-type: none"> 亀崎神社 秋季例大祭の奉納花火「吹火」 伝統・文化・芸能・地域行事の保存及び継承 	<ul style="list-style-type: none"> ホテル祭り
人・まち	<ul style="list-style-type: none"> 篠笛の達人(人的資産) 人や町内のつながり 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の人数が少ないので、みんな仲が良い 人と人との関わりが深く、情報がすぐに入ってくる 声をかけたら協力してくれる人が多い
芸備線・交通	<ul style="list-style-type: none"> 基幹となる交通網 	<ul style="list-style-type: none"> りょうま記念館 ネコ駅長やまと、副駅長ちどり
両地域に共通		
自然・歴史・特産	<ul style="list-style-type: none"> 自然・歴史が豊か 野生動物が多くいる 里山 星空 	<ul style="list-style-type: none"> 子供神楽(市無形文化財) 歴史が深い
祭り・イベント	<ul style="list-style-type: none"> 夏祭り 学区内のイベント(ふれあい祭り・盆踊り・運動会) 	<ul style="list-style-type: none"> 祭りを後世に残したい
人・まち	<ul style="list-style-type: none"> みんな知り合い 共助気持ち 人のつながり 人が優しい 絆が強い 	<ul style="list-style-type: none"> 地区内のコミュニケーション 地域の人が大人になっても長く付き合いがある
芸備線・交通	<ul style="list-style-type: none"> 芸備線 	



「について語る！」をテーマに話し合いました！

ク



席を移動してより多くの人と対話（ワールドカフェ方式）

グループごとに発表



投票



テーマ2、3 これまでの取組と今後の展開について

テーマ2・3では、「これまでの取組と今後の展開」について、「住みよさ」「安全・安心」「人が集まる・賑わい・楽しい」「自然」「その他」の5つの項目について、それぞれ地域で取り組んできたことや今後取り組んでみたいこと等を対話しました。

主な意見(抜粋)		
	高陽地域	白木地域
住みよさ	・高陽ニュータウンの再利用や耕作放棄地対策 ・安佐北区と安佐南区を繋ぐ。等	・人と人との関わりが多く、知らない人はいない。 ・人々に活気があり、互いに協力し、住むのが楽しい町 等
安全・安心	・子どもの見守りをしっかりしている。 ・歩道の確保 等	・人と人との交流があるので情報がすくに入ってくる。 ・空き家対策 等
人が集まる・賑わい・楽しい	・歴史資源活用 ・子供も楽しめるイベント賑わいの創出 ・芸備線へのアクセス向上で人があつまる場所の創出 ・観光マップを作り、観光客を呼ぶ。 等	・小中学生を中心に祭りのメインを行う行事がある。 ・ネコ駅長りょうまの次代であるやまと、ちどりの2匹のネコ活用 ・いちご・ブルーベリー狩りの広報・広告、観光マップ 等
自然	・自然との融合を囲めるあたたかいまち 等	・自然が多くあり、山登りやハングライダー等が楽しめる。 ・自然を守る為の環境整備を過度に行わない。 ・荒谷山・神ノ倉山へのアクセスをよくし、観光客を呼ぶ。 ・自然や野生動物、ホタル・オオサンショウウオを守る。 ・体験イベント開催 等
その他	・自治会・町内会でイベントを開く。 ・田舎暮らしの良さを宣伝して、若い人に住んでもらう。 ・白木地区への交通手段を増やす。 等	・町から出た若者を呼び起こせるような地域にする。 ・住民が自分の住んでいる地域が好き、他地域の人に自信をもって言える 等
両地域に共通		
住みよさ	・みんなで助け合いができる。 ・若者と高齢者のコミュニケーションが取りやすくなればいい。 ・SNSを中心に発信していく。 等	・公共交通の充実(タクシー、ループバスなど) ・災害時の道路やルートの確保 等
安全・安心	・ひとり暮らしの高齢者を見守る、家の片づけをする。 ・災害に強い地域にする。(防災センターの設置、水害対策 など) ・道路の整備(狭く救急車が入れない道路や事故の多い場所もある) 等	
人が集まる・賑わい・楽しい	・自治会・町内会でイベントや地域の特産品を活用した行事を行う。 ・駅自体を訪れる場所にする(道の駅 カフェなど)	・飲食店やカフェ、駅の中に居酒屋がほしい。 ・盆踊り・お祭りをを行う。祭りを増やす、発信する。 等
その他	・地域自治を担ってきた方が高齢化しているので、継承できるように、現役世代と交流する機会をつくる。 ・昔からある伝統と新しくはじめることどちらも平等に大切に。 等	・若者主体で発信する。 等



テーマ4 目指すべきまちの姿 / まとめ・発表 / 投票

テーマ4では、テーマ1～3を踏まえて「目指すべきまちの姿」について、グループで話し合い、両地域の方向性について、検討しました。各グループでまとめた意見を全体で発表してもらい、最後に、高陽地域・白木地域の目指すべき姿として特に重要だと感じた内容に投票してもらいました。

「安心・安全」「若者が帰ってくる」「芸備線も含めた公共交通」「自然との融合」等に対する投票数が高い結果となりました。



グループが想う目指すべきまちの姿	票数
<ul style="list-style-type: none"> ◆安心安全なまちづくり(災害に強いまちづくり) ◆道路網の整備(基幹交通網の整備) ◆若者が帰ってくるまち(若者の定着化) 	20
<ul style="list-style-type: none"> ◆芸備線を拠点にしたまちづくり ・駅に飲食店(居酒屋)・カフェ・野菜販売・保育園を置くことで、駅に行きたくなる ・駅に行くための、ループバスの確立 	20
<ul style="list-style-type: none"> ◆安心して親子で遊べる子どもの公園、夜飲める場 ◆自然との融合を計れるあたたかい町！(観光マップの作成 など) ◆公共交通の利用促進(パーク&ライド・駐車場の整備 など) 	19
<ul style="list-style-type: none"> ◆生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域 ・世代と世代の繋がりが強い地域 ・戻ってきたくなるような地域 ・多くの楽しい行事 ・伝統やしきたりこたわれない 	15
<ul style="list-style-type: none"> ◆住みやすい町 ・利便性(スーパー、交通の便) ・コミュニケーションの場 ・飲食店(飲む・食べる・カフェ) ・子どもや高齢者が安心できる町 	11
<ul style="list-style-type: none"> ◆人の繋がりを大切にすまち ・ワークショップなどで、人とのコミュニケーションをつくり、発展させる 	8
<ul style="list-style-type: none"> ◆人々が互いに協力して活気あふれる場を作り、住むのが楽しいまちづくり ・ワークショップのような場をつくる ・空家が自由に使えるようにする 	7
<ul style="list-style-type: none"> ◆地域ふるさと計画 ・高陽地区内でも各地区での問題は個々に多様性に富んでる 	7
<ul style="list-style-type: none"> ◆町内会・自治体の繋がりを大切に、助け合うまちづくり ◆スカイスポーツの町としてのPR活動を活かしたまちづくり ◆地域内外の人が楽しめるまちづくり 	4
<ul style="list-style-type: none"> ◆既存の交通機関でPRできる部分をつくって活性化させていく ◆道路インフラの整備 ◆駅近くに何もないのでコンビニやカフェなどアピールできる場をつくる 	3



次回

第2回 未来の地域の姿を実現するための 取組・アイデアの検討！①

(白木地域)

日時：9月28日(土) 18:00～(2時間程度) 場所：白木公民館 第1研修室

(高陽地域)

日時：9月29日(日) 14:00～(2時間程度) 場所：高陽公民館 研修室1

【グループまとめシート】

目指すべきまちの姿	キーワード	投票数
<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全なまちづくり(災害に強いまちづくり) ・道路網の整備(基幹交通網の整備) ・若者が帰ってくるまち(若者の定着化) ・高齢者にも住みよいまちづくり 	安心安全 交通・インフラ 住みよさ	20
☆芸備線を拠点にしたまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・駅に飲食店(居酒屋)、カフェ、野菜販売、保育園 → 駅に行きたくなる ・駅に行くための、ループバスの確率 → 行く人が増えれば、本数が増える 	施設 交通・インフラ	20
<ul style="list-style-type: none"> ・親子で遊べる子どもの公園、夜飲める場(高陽) ・安心して遊べるまちにする! 観光マップ ・自然との融合を計れるあたたかい町!(白木・安駄山・荒谷山・神ノ倉) ・公共交通の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のパーク&ライド ・駐車場の整備、高陽インター ・交通整備 	施設 安心安全 自然 交通・インフラ	19
<ul style="list-style-type: none"> ・生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域 ・世代と世代の繋がりが強い地域 ・戻ってきたくなるような地域 ・多くの楽しい行事 ・伝統やしきたりにとらわれない 	住みよさ 人とのつながり まち・地域 行事 文化・伝統	15
住みやすい町 →利便性(生活)(スーパー/交通の便) →コミュニケーションの場(キャンプ場/トレイルラン→自然/飲食店(ハウス) 飲む! 食べる! カフェいっぱいやろうや! →子ども・老後(弱者)が安心できる町	交通・インフラ 施設 安心安全	11
人の繋がりを大切にする街	人とのつながり	8
地域ふるさと計画 高陽地区内でも各地区での問題は個々に多様性に富んでいて、「これ」 って決める事は難しい 白木地区と共同問題として仲良くなれば… ・高陽 防災(川) ・白木 自然 駅 空 ・芸備 駅行(バス)アクセス、駐車場など、駅前店他保育園 ・道の整備	安心安全 自然 交通・インフラ 施設	7
<ul style="list-style-type: none"> ・人々が互いに協力して活気あふれる場を作り、住むのが楽しい町造り。 ・高齢になっても交通が重要。芸備線を良くしなければならぬ。 ・空家が自由に使えるように…。 ・町の事情と田舎の事情は大きくことなっている。一緒に語ることが難しい ・住んでる人が楽しめていけば自然と人が集まってくる。 ・道路を良くしなければならぬ。 	人とのつながり 交通・インフラ 空き家の活用 まち・地域	7
【高陽】 <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い町づくり ・町内会・自治体の繋がりを大切にして、助け合う町づくり 	人とのつながり 安心安全 自然 まち・地域 施設	4
【白木】 <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い ・自然を活かした町づくり ・楽しいまち ・深堀り ・小中一貫校 		
<ul style="list-style-type: none"> ・既存の交通機関で PR できる部分をつくって活性化させていく ・道路インフラの整備 ・駅近くに何もないのでコンビニやカフェなどをつくる 	交通・インフラ 施設	3

【個人まとめシート】

■ 高陽地域

テーマ1:地域の誇り・大切にしたいこと	テーマ2~3:これまでの取組と今後の展開	テーマ4:目指すべきまちの姿
<p>(自然・環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「自然」= 白木山・荒谷山・三篠川 ● 自然の美しさ(山、川、ホテル等) ● 自然が多くある ● 静かな環境 ● 荒谷山や白木山などの環境資源 ● 農業 ● 里山(安駄山、白木山、神の倉山、スカイスポーツ) ● 休耕田活用→民泊、農泊、キャンプ、BBQ へ ● 自然が多く、その自然メインで人を呼べる ● 田畑が多く、動物が多く見られる ● 住みやすさと自然を生かす <p>(人とのつながり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人・地域とのつながりの強さ ● みんな友達→小中学校の人数が少ないので、みんな仲が良い ● 地域活動→声をかけたら協力してくれる人が多い ● 人と人との関わりが深く、情報がすぐに入ってくる ● 自然があり(山、川、ホテル、雲海など)それを大切にしながら、新しい観光資源となるような取り組みを地域と連携して取り組んでいるのが井原地区の誇り ● 老若男女が楽しんでコミュニケーションが取れるという人間関係を大切にしたい ● 田舎なので人の繋がりは特に大切にしたい <p>(資源)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「観光」:猫駅長、もくべリー、モーモーミルク、リシェット、鯉のぼり <p>(行事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 神楽 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不便さがたまらなく好き ● 芸備線 	<p>(公共交通とその周辺環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 芸備線区間内の延長(狩留家より先まで行くものを増やす) ● 芸備線と地域活性→ネコ駅長、増便、離合スペース ● 交通・交通網の整備(渋滞緩和、歩道が狭い、危険?) ● 交通が悪いため人が外に気軽に遊びに行けず、若者が出ていく一方である ● 車があることが前提になっている。駐車場を作る ● 駅までのアクセスを良くする。ループバスや連絡バスなど ● 駅自体を訪れる場所にする(道の駅、カフェなど) <p>(インフラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道路整備 ● 井原のわくわくプロジェクトなど、人を呼ぶための活動ができてきているから、道路設備を整える <p>(情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 観光マップを作って、駅などに置く ● 各地区の特産、店等をマップにしてアピール <p>(資源)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 荒谷山、神の倉山、ネコ駅長などのアピール ● 取り組んでいないのでわからないが田畑の活用 ● 自然の魅力アピールしてきた(井原) <p>(人とのつながり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域自治を担ってきた方の高齢化→若者に継承できるように、現役世代と交流する機会をつくる <p>(行事・イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お祭り→減少、高齢化、人が集まる機会が少ない ● 行事に参加する ● ふるさとの自然を再発見するイベントが従来から行われている ● 地域イベントを見直し、新しいものに進化させていく取組が行えたら良い。老若男女が対話する機会を増やしてコミュニケーションを図るのが今後の課題。 ● 人が楽しめるイベント関係は今後も仲間たちとやっていきたい <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新規産業(イチゴ、ブルーベリーなど)を拡大していく ● 高陽と白木だけでは語れない、細分化が必要 ● ただキャバの限界を超えると地域に迷惑をかけることになるのでその辺りはよく考えていく ● 例年通りの事、やらされている→やる、今やりたい事、出来る事 	<p>(インフラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インフラを整える。(梅林のあたりを参考に) <p>(娯楽、施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 飲食店を増やす(コミュニケーションが図れる) <p>(情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 若者がもっと発信していく。(SNSの利用など) <p>(災害、防災(安心安全))</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全な町(河川、山、災害に強いまち) <p>(資源)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然を生かしたインフラ設備(キャンプ場、トレイルランなど) ● 自然がキレイな町 <p>(人とのつながり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今のままで友達がいなくなってしまう ● 協力したくても人がいなくなる ● 世代間のギャップが少なくなっている ● 町から出た若者を呼び起こせるような地域にする <p>(行事・イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住民が楽しめる行事はやはり必要 <p>(住みよさ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年をとっても住みやすい ● 利便性や安全、安心感 <p>(まち・地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人口増 ● 楽しい町 ● 会話がある町づくり、話を聞く ● 人々に活気があり、互いに協力し、住むのが楽しい町 ● 個々の地区の活性化が地域の活性化につながる ● ある一定の人だけが楽しめる(得をする)のではなく、関わる全ての人が楽しめるような町にしたいです。言葉を否定するのではなく、聞く耳を持って考えられたいと思います。 ● 住民が自分の住んでいる地域が好き、他地域の人に自信をもって言えるようになると素晴らしい <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住民一人一人が、真剣に話し合う場が必要

■ 白木地域

テーマ1:地域の誇り・大切にしたいこと	テーマ2~3:これまでの取組と今後の展開	テーマ4:目指すべきまちの姿
<p>(自然・環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然が豊か ● 自然環境の保全 ● 夜静か ● 地域資源(自然の山、美味しいもの)を生かして活性化 ● 他場所から移住してきた人から魅力的に見える公園や河川敷、山などの自然景観 ● 地域の観光資源をほかの地域の人からわかるようにもっとアピールしていく <p>(歴史・文化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歴史が豊か ● 歴史建造物の保全 ● 伝統・文化・芸能の保存及び継承 ● 歴史を掘り下げる ● 祭りでの手作り花火などその地域ならではの文化 ● 地域の人材を有効活用していく(伝統・文化など) ● 物流拠点として栄えた過去歴史 ● 中郡道プロジェクト ● 水車を構築した <p>(人とのつながり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の人たち同士の結びつきの強さ、地域の絆 ● 人とのつながりを大切に ● 人間関係のつながり(若い人たちとの交流を増やしたい) ● つながり(人としてね)ゆりかご~はかばまで <p>(資源)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 野菜 <p>(行事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町内のつながりがある(町内運動会や祭りなど) ● イベント(三つ:ふれあい祭り・盆踊り・運動会) ● 地域行事の継続 ● 自然を生かした集客できるイベントなど行う ● 各町内会、自治会でイベントなど行い、もっと交流を深めていく ● お祭り、神楽 ● 白木・高陽各地域で自治会、学区社協、地域組織、企業が協力してお祭りをやる <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道路などの整備を行い安全に暮らせるようにする ● 子どもたちが楽しく集まれる場所を増やす ● 「狩留家なす」特産品化 	<p>(公共交通とその周辺環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 芸備線の本数が少ない ● JRの活性化、基幹交通網の整備・活性化 ● 古い団地は道が狭く、ループバスが来ない ● 白木地区への交通手段を増やす ● JR 芸備線沿線の各駅周辺の駐車場整備を行政に期待したい <p>(インフラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道路の拡張など安全面を強化 ● 交通アクセスを良くしていく(混雑の解消) ● 道路幅が狭く、自転車等が危ない ● 志和 IC~狩留家の道路整備(災害時のルート確保) ● 市内とのアクセス強化 温品バイパス延伸 ● ライフラインの構築(市道37号線の早期完成) ● 「狩留家」をパーク&ライドステーションに ● 坂道が多く、買い物に行きにくくなる ● 歩道がない箇所があり、子育てするのに不安 <p>(娯楽、施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大人が楽しめる場所が少ない(全く無い?) ● 子供の自然公園を作る。飲食店、子どもが遊べる場を増やす。 ● JR 無人駅を一般入へ提供し、居酒屋、喫茶店、うどん等の設置 <p>(情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 農業など若い方へ紹介、田舎暮らしの良さを宣伝し、若い人に住んでもらう。若い人が楽しいと思える街づくり、若者の定着化 ● 荒谷山や猫駅長など有名なものを SNS で発信 ● 観光マップを作り、観光客を呼び近隣 JR 駅への住民主体移送サービス渋滞緩和 <p>(災害、防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害に強いまちづくり、安心安全な町づくり ● 道路が1本しかないため災害時に孤立する ● 大災害の発生時への対応(高陽インターを利用した高陽ニュータウンへの災害本部の設置・全国からの応援部隊の受入れ) <p>(資源)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「狩留家なす」の加工品化による地域活性化 ● 白木山、安駄山、荒谷山、神ノ倉を整備 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少の原因として交通不便、働く場所が少ない ● ボランティアグループの活性化と取り組み ● 高齢化により空家が多くなる ● 昭和の活動→令和の活動 	<p>(公共交通とその周辺環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各家庭から拠点駅まで交通手段をつくる <p>(インフラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道路網が発達している地域 <p>(娯楽、施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 芸備線へのアクセス向上(ループバス)で人があつまる場所の創出 ● 駅の特徴(魅力)を出し、目的地となる場所づくり→例:カフェ、飲み屋、野菜販売、ネット購入の荷物預かりなど→雇用が増える→人が増える。住む所はたくさんある(空家の活用) ● 住民が自ら楽しめる施設 <p>(災害、防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 災害に強いまちづくり ● 安心安全な町づくり <p>(資源)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然との融合を図れるあたたかい町 <p>(人とのつながり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各町内会・自治会でのつながりを大切にし、お互い困った時に連携し助け合えるまちづくりが大事 <p>(行事・イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもも楽しめるイベント振りの創出 <p>(まち・地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子育て環境が良い町 ● 白木・高陽地区の道路の整備と高齢者・子ども達の暮らしやすい町 ● 今回のお話の中で、白木地区の話が多かった。高陽地区の活性化をもっと考えた方がいいかも。高齢化の街なので、若い人も加わりここに住みたいと思える街づくりができればと思う。 ● 高齢になっても最期迄住み続けられる地域環境 ● 高齢者でもすみよい地域 ● 若者が帰ってくる町 ● 安心して遊べる町にする <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 個々の「力」特性をさらけだして協力していければいいかもね

(2) 第2回

令和6年10月
No.02

広島市地域活性推進課
Tel:082-504-2837
Fax:082-504-2029

高陽地域・白木地域 活性化プラン作成検討 ワークショップ ニュース



高陽・白木地域の地域ごとのビジョンや取組について考える 第2回目のワークショップを開催しました！！

高陽・白木地域の『活性化プラン』の作成に向け、両地域のお住まいの方に参加いただき、「地域の将来像」や「将来像を実現するための取組」などをテーマとして、全4回（両地域合同開催、地域別開催含む）のワークショップを行っています。第1回目は、「両地域の“これまで”と“未来”について語る」をテーマに両地域の方向性について、検討してもらいました。

第2回目は、9月28日に白木地域、9月29日に高陽地域で開催しました。計38名（高陽地域：22名 白木地域：16名）が参加し、「未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討！」をテーマに、地域ごとの目指す方向性やその実現に向けて取り組みたいことを対話いただきました。

ワークショップの予定

7月 **第1回**（2地域 合同開催）
両地域の“これまで”と“未来”について語る！

9月 **第2回**（地域別で開催）
未来の地域の姿を実現するための
取組・アイデア検討!①

11月 **第3回**（地域別で開催）
未来の地域の姿を実現するための
取組・アイデア検討!②

1月 **第4回**（2地域 合同開催）
これから目指すまちの姿の実現に向けて！

活性化プランのとりまとめ

～当日のプログラム～

1. 開会・あいさつ
2. 事業の説明
3. WS 全体運営者の紹介
4. 前回の振り返り
5. ワークショップ(ワールドカフェ)
 - ・方法説明
 - ・アイスブレイク:名札作成と自己紹介
 - ・テーマ1:地域の将来像を整理
 - ・テーマ2:将来像を実現するために、取り組むべきことの整理
 - ・テーマ3:テーマ2の中で取り組みたいことの整理
＜話したいテーマでグループ分け＞
 - ・チームに分かれて、プロジェクトシートの作成
 - ・まとめ
 - ・発表
6. 閉会

地域ごとの“将来の目指す方向性”や“その実現”

当日のワークショップ (WS) の流れ

当日は、第1回目のWS結果を踏まえ、地域の将来像を整理し、その実現に向けて、必要となる取組や取り組みたいことを対話しました。また、取組のテーマ(プロジェクト)ごとにチームに分かれ、実施内容を検討し発表いただきました。



地域の将来像・プロジェクトの検討

第1回目のWSで考えた「両地域の目指すべき姿・方向性」をもとに、各地域の将来像をグループで整理し、話し合いました。そして、それらを実現するために地域で取り組みたいこと、必要となる取組について対話してもう一度チームごとにチームに分かれ、取り組む内容=プロジェクトを考えました。高陽地域は3テーマ・5チーム、白木地域は2テーマ・3チーム、プロジェクト名、目指すべき方向性や目標、実施内容について話し合い、プロジェクトシートを作成しました。

《地域の将来像》

《プロジェクト概要》

		高陽地域	白木地域												
両地域の目指すべき姿(第1回検討内容) ※詳細は前回ニュース参照	高陽地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 住みやすいまち ● 高齢者に住みよいまちづくり ● 交通の整備 ● 若者と高齢者のバランス ● 生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域 ● 戻ってきたくなくなるような地域 ● 安心安全のまちづくり ● 災害に強いまち <p>地域の将来像を全体で共有</p>	<p>将来像を踏まえ、取組のテーマを検討</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>プロジェクト名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸備線の活性化</td> <td>みんなで使おう芸備線!! ~もっと便利な芸備線にしよう~</td> </tr> <tr> <td>みんなが集まれるイベントを企画する</td> <td>芸備線の活性化</td> </tr> <tr> <td>高陽体育館の建替え</td> <td>KoYo BIG Fes</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高陽ゲートパーク化計画</td> </tr> <tr> <td></td> <td>深川地区の活性化プロジェクト</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ	プロジェクト名	芸備線の活性化	みんなで使おう芸備線!! ~もっと便利な芸備線にしよう~	みんなが集まれるイベントを企画する	芸備線の活性化	高陽体育館の建替え	KoYo BIG Fes		高陽ゲートパーク化計画		深川地区の活性化プロジェクト
	テーマ	プロジェクト名													
芸備線の活性化	みんなで使おう芸備線!! ~もっと便利な芸備線にしよう~														
みんなが集まれるイベントを企画する	芸備線の活性化														
高陽体育館の建替え	KoYo BIG Fes														
	高陽ゲートパーク化計画														
	深川地区の活性化プロジェクト														
白木地域	<ul style="list-style-type: none"> ● 生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域 ● 住みやすいまち ● 自然との融合を図れ、人々が互いに協力して活気あふれる、住むのが楽しいまち ● 戻っていきたくなくなるような地域として、地域の活性化を進めていく <p>グループで、地域の将来像を整理</p>	<p>将来像を踏まえ、取組のテーマを検討</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>プロジェクト名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然の有効活用</td> <td>白木自然発見</td> </tr> <tr> <td>既にあるものを活かした取組</td> <td>資源の活用(意識改革)</td> </tr> <tr> <td>情報発信</td> <td>#白木町広報課</td> </tr> <tr> <td>芸備線の活性化・利用促進</td> <td>鉄道「^{エックス}X」</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ	プロジェクト名	自然の有効活用	白木自然発見	既にあるものを活かした取組	資源の活用(意識改革)	情報発信	#白木町広報課	芸備線の活性化・利用促進	鉄道「 ^{エックス} X」			
テーマ	プロジェクト名														
自然の有効活用	白木自然発見														
既にあるものを活かした取組	資源の活用(意識改革)														
情報発信	#白木町広報課														
芸備線の活性化・利用促進	鉄道「 ^{エックス} X」														

現に向けた取組” について話し合いました！



ことをテーブル模造紙) に記入

取り組みたいテーマごとにチーム分け、プロジェクトシートを作成

チームごとに発表

体で地域の目指す方向性を確認
い、特に地域で取り組みたいテ
域は4テーマ・4チームに分か
た。



目指すべき方向性・目標	実施内容・取組内容
各 JR 駅までのバス (ジャンボタクシー) パーク&ライド (駅付近) 生活バスのサブスク化 等	・高陽・白木でのイベント ・芸備線スタンプラリー ・JR との地域イベント
芸備線の利便性を向上する	・話題性で人を集める ・駅のまわりへ飲食店を誘致 ・駅周辺の整備を行う ・各地域の特産品をリンクしあった地域おこし (三田のイチゴ、井原のジビエ 他) ・中間駅をパーク&ライドの機能を持つ駅とする。 等
若者と呼ぶ ・地域の特性を生かしたもの 自然を生かす ・SNS 等の活用により広報する だれでも参加できる環境づくり 等	・音楽フェスとセットで地域の伝統 “神楽” 競演 (高陽地区) ・荒谷山雲海ツアー ・有名・著名人を呼ぶ
異世代交流できる場所づくり 近隣の方にも喜ばれるイベント	・本、ぶつぶつ交換 ・クリスマスマーケット ・Cafe, Wine, ハイボール ・フリーマーケット ・ドミネーション的な? インスタ映え。映える背景 ・MUSIC ステージ発表 ・花火
建替えるからこそ「ウリ」を多くしたい 子供も大人も集まれる場所 芸備線との連携 ・可部とのつながり	・フットサル、ボルダリングなど他の地域でできないスポーツができる ・実業団にも使ってもらえるように ・避難所としての機能 ・エルモ・こども食堂 (社協事務所) を入らせる・駐車場の共同利用 等

目指すべき方向性・目標	実施内容・取組内容
登山者の増加 山の利用者の増加 山の整備	・山ツアー ・山の PR ・登山道の整備 ・バイオトイレの整備 ・キャンプ ・山イベント ・駐車場 (休耕地の活用) ・ホテル ・子供山イベント ・川の景色 (中三田) ・井原 (桜まつり)
意識を変える	・住居: 空き家の有効活用 ・どの世代の人も意識を変える ・支える仲間: 若い人 (既にいるひと)、外から来たからこそ見つけられる魅力 ・温故知新 (古いこと、新しいことを聞き入れた中で1つのことを進める) 等
知らないを知ってもらう 町全体をアピール いろいろな世代に楽しめるように情報発信 その地域の一つのシンボルになる 等	・多くの人の目につくように ・公式ハッシュタグ ・白木町全体の SNS や会報 ・SNS・インターネット使わない層にも子供などから情報入る ・各地域の SNS などまとめて出す (今はバラバラ) 等
テレビ付き電車 いつでも、どこでもサツと乗れる環境にする 駅までの交通手段を作る 等	・駅舎を利用 (カフェ等) ・駅前に魅力ある施設を作り、人を集める ・臨時列車を仕立て人員輸送する (ネコ駅長) ・駐車場整備 ・ネコ駅長を活用したまち ・駅周辺のリーフレットやマップ作成。

グループの発表

グループごとに考えたプロジェクト名や目指すべき方向性、実施内容について発表してもらいました。

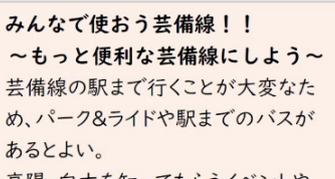
高陽地域



深川地区の活性化プロジェクト
 体育館や中深川駅、周辺の道路も含めてトータルで考えた方がいい。建て替えるからこそウリを多くしたい。スポーツ以外の場面でも人が集まれるような施設にはどうか。



KoYo BIG Fes
 若者と高齢者の方がどちらも来たいと思うものにする。いろんな人が興味を持ってもらえるようなイベントをつくりたい。



みんなで使おう芸備線！！
 ～もっと便利な芸備線にしよう～
 芸備線の駅まで行くことが大変なため、パーク&ライドや駅までのバスがあるとよい。
 高陽・白木を知ってもらうイベントや地域の特産品を駅で販売することで、利用が促進されるのではないかな。

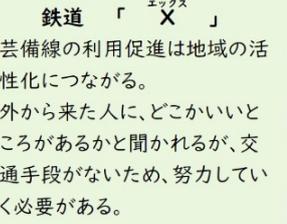


高陽ゲートパーク化計画
 寺迫公園とフジグランの近くにある公園でイベントができればいい。神楽など地域の人が発表できることが大事。近隣や遠方からも来やすい環境やイベントをつくりたい。



芸備線の活性化
 芸備線の利便性向上、利用客の増加を目指したい。
 駅1つ1つに話題性をつくり、利用客を増加させていきたい。

白木地域



鉄道「^{エックス}X」
 芸備線の利用促進は地域の活性化につながる。
 外から来た人に、どこかいいところがあるかと聞かれるが、交通手段がないため、努力していく必要がある。



白木自然発見
 白木町は山が非常に多く、それぞれが魅力的。しかし、魅力が十分に活かしきれていないので、自然の魅力を内外に発信していきたい。
 山の利用者と登山者を増やすために、登山のインフラを整備する。そのために周知や収益が上がる仕組みがあればいいのではないかな。



#白木町広報課
 まず知ってもらわないといけない。
 各地域のSNSも使いつつ、一体的に情報を発信することでみんなの目につくようにするというのが一番大事。



資源の活用（意識改革）
 どの世代の人も意識を変え、意識改革をしていく。
 お互いの意見をしっかり入れて意識を変えて使える行動を持つのが一番大事。

次回

第3回 未来の地域の姿を実現するための 取組・アイデアの検討！②

(高陽地域)
 日時：11月24日(日) 14:00～(2時間程度) 場所：高陽公民館 研修室1

(白木地域)
 日時：11月30日(土) 18:00～(2時間程度) 場所：白木公民館 第1研修室

31

【プロジェクトシート一覧表】

	プロジェクト名	目指す方向性・目標	実施内容・取組内容
高陽地域	みんなで使おう芸備線!!～もっと便利な芸備線にしよう～	<ul style="list-style-type: none"> ・各JR駅までのバス(ジャンボタクシー) ・パーク&ライド(駅付近) ・生活バスのサブスク化 ・可部線と芸備線相互乗入 	<ul style="list-style-type: none"> ・高陽・白木でのイベント ・芸備線スタンプラリー ・JRとの地域イベント
	芸備線の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・芸備線の利便性を向上する 	<ul style="list-style-type: none"> ・話題性で人を集める ・駅周辺の整備を行う ・駅の周りへ飲食店を誘致 ・各地域の特産品をリンクしあった地域おこし(三田のイチゴ、井原のジビエ) ・中間駅にパーク&ライド機能
	KoYo BIG Fes	<ul style="list-style-type: none"> ・若者を呼び ・地域交流会・活性化 ・地域の特性や自然を生かす ・SNS等の活用による広報 ・誰でも参加できる環境づくり ・芸備線・バスによる”足”の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽フェスとセットで地域の伝統”神楽”競演 ・荒谷山雲海ツアー ・有名・著名人を呼び
	高陽ゲートパーク化計画	<ul style="list-style-type: none"> ・異世代交流できる場所づくり ・近隣の方にも喜ばれるイベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・本・物々交換 ・クリスマスマーケット ・花火 ・cafe,Wine ・インスタ映え・映える背景 ・フリーマーケット ・MUSIC ステージ発表
	深川地区の活性化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・建て替えるからこそ「ウリ」を多くしたい ・子どもも大人も集まれる場所 ・芸備線との連携 ・可部とのつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ・フットサル・ボルダリングなど他地域でできないスポーツができる ・エアコン設置は必須 ・実業団にも使ってもら ・LMO,子供食堂 ・避難所としての機能 ・駐車場の共同利用 ・県道 70 号整備

	プロジェクト名	目指す方向性・目標	実施内容・取組内容
白 木 地 域	白木自然発見	<ul style="list-style-type: none"> ・登山者の増加 ・山の利用者の増加 ・山の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・山ツアー ・山の PR ・登山道整備 ・バイオトイレ整備 ・キャンプ ・山イベント ・駐車場(休耕地活用) ・ホテル ・子ども山イベント ・川の景色(中三田) ・井原桜まつり
	資源の活用(意識改革)	<ul style="list-style-type: none"> ・意識を変える 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用 ・どの世代も意識を変える ・支える仲間:若い人(既にいる人)・外から来たからこそ見つけられる魅力 ・温故知新 ・分母(人口)を増やす
	#白木町広報課	<ul style="list-style-type: none"> ・知らないを知ってもらう ・町全体をアピール、色々な世代が楽しめる情報を発信 ・地域のシンボルの一つになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人の目につくように ・公式ハッシュタグ ・白木全体の SNS 等 ・WEB を使わない層にも子供から情報入る ・各地域の SNS をまとめて出す
	鉄道「X(エックス)」	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ付電車 ・いつでもどこでもサッと乗れる ・駅までの交通手段確保 ・利用率を高める ・本数・車両数を増やす ・電子決済 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎を利用(カフェ等) ・駅前に魅力ある施設を作る ・臨時列車を仕立て人員輸送する(ネコ駅長) ・駐車場整備 ・ネコ駅長を活用したまちづくり ・駅周辺マップ等の作成

(3) 第3回

令和6年12月
No.03

広島市地域活性推進課
Tel:082-504-2837
Fax:082-504-2029

高陽地域・白木地域 活性化プラン作成検討 ワークショップ ニュース



高陽地域



白木地域

高陽・白木地域の地域ごとのビジョンや取組について考える 第3回目のワークショップを開催しました！！

高陽・白木地域の『活性化プラン』の作成に向け、両地域のお住まいの方に参加いただき、「地域の将来像」や「将来像を実現するための取組」などをテーマとして、全4回（両地域合同開催、地域別開催含む）のワークショップを行っています。第1回目では、両地域の方向性について検討し、第2回目では「未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討！①」をテーマに各地域の将来像と実現に向けて取り組みたいことを検討していただきました。

第3回目は、11月24日に高陽地域、11月30日に白木地域で開催しました。計31名（高陽地域：18名、白木地域：13名）が参加し、「未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討！②」をテーマに、将来像の実現に向けて取り組みたいことを対話いただき、地域内で共有しました。

ワークショップの予定

7月 **第1回**（2地域 合同開催）
両地域の“これまで”と“未来”について語る！

9月 **第2回**（地域別で開催）
未来の地域の姿を実現するための
取組・アイデア検討！①

11月 **第3回**（地域別で開催）
未来の地域の姿を実現するための
取組・アイデア検討！②

1月 **第4回**（2地域 合同開催）
これから目指すまちの姿の実現に向けて！

活性化プランのとりまとめ

～当日のプログラム～

1. 開会・あいさつ
2. 事業の説明
3. 前回の振り返り
4. 活性化プランについて
5. ワークショップ
・方法説明
・プロジェクトシートの作成
・両地域で連携できそうな取組の整理
・地域内のプロジェクトの共有、連携できそうな取組の整理
- ・まとめ
・発表
6. 閉会

プロジェクトごとに「将来像の実現に向けた取組」

プロジェクトシートの作成・取組の整理

第2回目のWSで考えた「プロジェクトの方向性、取組内容」をより実現化するために、プロジェクトシートを作成しました。

高陽地域は3チーム、白木地域は4チームに分かれ、プロジェクトの目標やターゲット、取組のスケジュール、チーム内での役割を考えました。また、高陽地域、白木地域の両地域で連携できそうなことや地域内で連携できそうなこと、プロジェクトを進めていく上で協力してほしい人を整理し、地域内でプロジェクトの内容を共有しました。



地域内の他のチームと一緒にできそうなことを意見交換

チームで考えたことの共有

★ 両地域で連携できそうなこと

□ 地域内で連携できそうなこと

※ 吹き出しは発表時のご意見

高陽地域のプロジェクト

プロジェクト名 ターゲット	取組スケジュール	役割	協力してほしい人
みんなで使おう 芸備線！ ～もっと便利な 芸備線にしよう～ (ターゲット) ・地域住民 芸備線について住民がどのように思っているのかを聞く。	目標：芸備線の利便性を向上する(利用促進方法) 短期(1~3年) 中期(4~6年) 長期(7~10年) 住民意識のアンケートをとる → 利用者の少ない時間のダイヤの改正 → 話題性で人を集める(高陽・白木でのイベント、JRとの地域イベント) → 駅の周りへ飲食店を誘致 → パーク・アンド・ライド 各JR駅までのバス → 芸備線の本数を増やす 狩留家なすを事例に各地域の特産物を広める → 地域の特産品を宣伝する → 各地域の特産品とリンクしあった地域起こし → 狩留家なすなどの地域の特産品を他の野菜と合わせて広めていく。	・交渉 ・パーク・アンド・ライド ・駅周辺の整備を行う	・地方自治体 ・国 ・JR 西日本 ・政治家
深川地区の活性化プロジェクト (ターゲット) ・高陽白木地域 ・芸備線沿線地域	目標：建て替えるからこそ「売り」を多くしたい。下深川駅前再開発。 短期(1~3年) 中期(4~6年) 長期(7~10年) 地域の意見をまとめる → プラン決定 → 下深川駅前再開発 → 芸備線との連携 → 高陽地域、白木地域のみんなが利用できるようにし、大会などを開き、集える場所にする。 地域の意見をまとめ、再開発に向けて動いていく。 地域の意見を具体的に検討 → 高陽体育館の建替え・移転 → 避難所としての機能 → 子ども、大人が集まれる場所 → 高陽・白木スポーツ大会	・再開発 ・体育館移転 ・書類フォロー	・行政
KoYo BIG Fes (ターゲット) ・全世代 ・老若男女 ・近隣 ・他地域から 学校用品や制服の物々交換のようなことができるといい。	目標：地域のつながりをつくる。若者を呼ぶ。 短期(1~3年) 中期(4~6年) 長期(7~10年) MUSIC ステージ発表(高陽 wing、大学生) → 音楽フェス Cafe wine → クリスマスマーケット フリーマーケット(野菜や特産物、地元企業) → 荒谷山雲海ツアー 地域の伝統「神楽」の競演 → 花火 物々交換・物品提供(児童会・各学校生徒会)	・学校へ声かけ ・地域をつなぐ ・司会 ・広告作り ・SNS 発信	・著名人 自治体や商工会とコラボレーションして、高陽地域の人に参加してもらう。

目について話し合い、地域内で共有しました！

白木地域のプロジェクト

プロジェクト名 ターゲット	取組スケジュール	役割	協力してほしい人
鉄道 「エクスプレス」 駅舎に、休める場所をつくる。 (ターゲット) ・観光客 ・乗り鉄 ・猫愛好家 ・シニア	目標: 求訪者の大幅増加。列車の本数を増やす、増結。 団体専用の臨時列車の運用 短期(1~3年) → 中期(4~6年) → 長期(7~10年) 駅舎を利用(カフェ等) → 古い車両を買う → 列車ホテルの設置(休憩、宿泊) 電子決済ができるようにする。(今は狩留家まで) → ICOCAが使える駅にする → ホテル列車・雲海列車を走らせる → 定期列車が走るようになる アピール(SNS、メディア、パンフレット) → 駅周辺のリーフレット・マップを作る → 登山道の整備 → 乗ってもらう ぼたる列車や雲海列車を走らせ、芸備線に乗ってもらう。	・臨時列車を走らせる ・アピール ・女性の集客 ・猫のお世話 ・山師	・JR ・市議会議員 ・白木産業 ・高陽地区の皆さん
白木自然発見 (ターゲット) ・全世代 現状だと、人数が少ないため、みんなと協力して整備していきたい。	目標: 山を知ってもらう。山の維持。登山者の増加。山の利用者の増加。 短期(1~3年) → 中期(4~6年) → 長期(7~10年) 登山道の整備 → 駐車場 → 山イベント(薪割り体験、丸太切り体験、椎茸づくり) 山の整備 → バイオトイレ → キャンプ 山のPR → 山ツアー → 川の景色 → 雲海ツアー 山原(桜まつり) → ホタル PRの部分は#白木町広報課と連携する。	・現場管理 ・山の案内 ・広報	・登山団体 ・観光課 ・農林水産課 ・#白木町広報課
暮らしのNew在 意識改革をしていきたい。 (ターゲット) ・全ての人・物・文化 このWSのような夢を語る場を継続していく。	目標: 夢を語る 短期(1~3年) → 中期(4~6年) → 長期(7~10年) 場づくり(機会・仲間) → 語る → 意識を変える → 増員・増飲・増殖・増食 既存施設の発掘 → アイデアが増える → 意識を変える → 世代交代 持ち寄り居酒屋 → 既存資源の発掘(市民農園など) → 拡充場(ハコ)を増やす → 拡充センターづくり 白木町にはお店が少ないので、持ち寄り居酒屋のようなかたちで始め、人や食、語る場所を増やしていきたい。	・段取り ・調達(人・物等) ・場所の提供	・料理のできる人 ・#白木町広報課 ・広島市
#白木町広報課 (ターゲット) ・親世代 ・子ども 地域で集めた情報を1か所に集めるルートをつくる。	目標: 白木町に来てもらう。白木町を知ってもらう。 短期(1~3年) → 中期(4~6年) → 長期(7~10年) 組織をつくる → 地域別の情報をまとめるルートをつくる → 取材形式の投稿 → Youtubeチャンネル → 白木町の情報番組 TikTokやInstagramで情報を発信 → 外部の人に体験を投稿してもらう → 「#白木町広報課」をつけて投稿してもらう 自分たちが取材に行き、その内容を投稿する。	・情報を1つにまとめる	・各地域の団体 ・動画制作のできる人 ・インフルエンサー

地域内外で連携できそうな取組

高陽地域・白木地域の両地域で連携してできそうな取組と、地域内のプロジェクトチームと連携してできそうな取組を考えてもらいました。

	プロジェクト名	地域内で連携できそうなこと	白木地域と連携できそうなこと
高陽地域	みんなで使おう芸備線!! ～もっと便利な芸備線にしよう～	◆ 住民の意識アンケート	◆ 地域の特産物の宣伝 ◆ 高陽・白木や JRとのイベント
	深川地区の活性化プロジェクト	◆ 飲食店のオープン ◆ 公共施設や避難所の設置 ◆ スポーツ大会	◆ 芸備線周辺での飲食店オープン ◆ 高陽・白木スポーツ大会
	KoYo BIG Fes	◆ 狩留家なす	◆ ステージ発表 ◆ フリーマーケット ◆ 告知・宣伝
	プロジェクト名	地域内で連携できそうなこと	高陽地域と連携できそうなこと
白木地域	鉄道「 ^{エクス} X」	◆ 駅舎の利用 ◆ アピール ◆ 登山道の整備	◆ アピール、マップの作成 ◆ 列車ホテルの設置 ◆ ホテル列車や雲海列車を走らせる
	白木自然発見	◆ 山・登山道の整備 ◆ 山のPR	◆ 山・登山道の整備 ◆ 山のPR、山ツアーやキャンプ
	里 ^り New ^{にゅーある} 在	◆ 夢を語る場 ◆ 人や物の調達	◆ 一緒に夢を語る ◆ 既存施設の発掘
	#白木町広報課	◆ 情報の提供・収集 ◆ 団体への取材	◆ 共通の#を付けた投稿 ◆ 情報の紹介

グループの発表

グループごとに考えたプロジェクトの目標や取組内容、役割について、発表してもらいました。



次回

第4回 これから目指すまちの姿の実現に向けて！

【2地域合同開催】

日時：1月25日（土） 17：00～（3時間程度） 場所：高陽公民館 ホール
（予備日（荒天の場合））

日時：2月 1日（土） 17：00～（3時間程度） 場所：高陽公民館 ホール

(4) 第4回

ワークショップニュースを貼り付け

高陽地域・白木地域活性化プラン<< 案 >>

2025年3月時点

編集：

高陽地域・白木地域活性化プラン